



Guts! 通信

討議資料

横浜市議員(戸塚区選出)
坂本勝司 市政報告 2020年年末号
発行責任者:坂本勝司事務所

横浜市議員 坂本勝司

★戸塚のために★ SDGs 誰一人取り残さない



日頃より坂本勝司の活動に対し、ご支援・ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。早いもので横浜市議員となり3期目10年の節目を迎え、地域の課題解決、横浜市の重要施策への対応に取り組んでおります。引き続き、地域課題など御座いましたらお声掛け頂きます様宜しくお願い致します。

2020年も残すところ1か月となりました。今年は2月のダイヤモンドプリンセスが横浜港に入港して以来コロナ禍により、生活環境の変化、働き方の変化、教育環境の変化と全ての世代に関わる、国難の中での1年となりました。そして、未だに感染拡大に歯止めが掛からない状況が続き、年末年始の過ごし方にも影響が出そうな状況となっています。

ご事業・ご商売をされている皆さまのご心配事、各ご家庭での生活においてのご心配事、高齢者世帯での感染予防に対するご心配事、子ども達の教育に対するご心配事、文化・芸術・芸能・スポーツなどの発表・大会の場の喪失によるモチベーションの確保、等々、政治的課題が大きく、一つ一つ丁寧に対応しなければなりません。国・県・市の連携を強固なものとし、区民の負託を受けた我々が皆さまの声を届け、少しでも不安解消となる様に課題解決に努めて参ります。

コロナ禍では御座いますが、皆様方にとって健やかで明るい新年をお迎えすること、そして、2021年が皆様にとりまして、幸多いことを心から御祈念申し上げます。

横浜市はより良い市民生活に向け「特別自治市」の実現を目指しています！

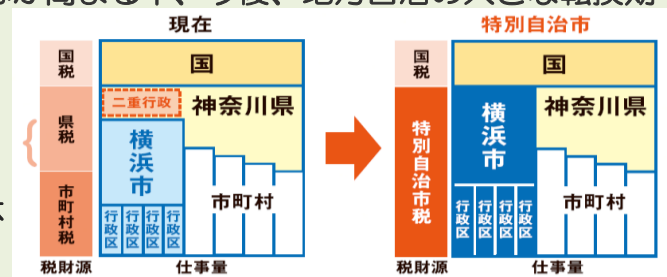
11月1日に政令指定都市である大阪市を廃止して4つの特別区に再編する、いわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が行われたのは記憶に新しいところです。

この大阪都構想は大阪市を4つの特別区に分区し区長を公選で選び、それぞれ区議会を設置し、大阪府との役割を明確にして二重行政解消を図ることを目的とし、住民投票が行われましたが、今回の投票結果にて大阪都構想は否決され政令指定都市として大阪市が存続することが決まりました。

二重行政解消に向けては、政令指定都市のように人口規模の大きな自治体としては大きな課題で、より安心・安全なまちづくりや住民サービスを向上させるための財源確保に向けて、横浜市としては特別自治市の実現をめざしこれまでも議論してきました。今回、大阪都構想にて大都市制度のあり方について全国的に関心が高まる中、今後、地方自治の大きな転換期として更に強く国への要望を続けていきます。

特別自治市とは

「特別自治市」とは、横浜市域の国の仕事以外は、原則全て横浜市が担う自治体であり、横浜市民の払う地方税は市税(特別自治市税)に一本化されます。



目的である「二重行政の解消」を目指すという点は同じですが、大阪都構想では、府と特別区にて役割分担を行ない明確化することですが、横浜市との大きな違いは警察権限なども移管し県からの独立を目指すというのが横浜の目指す特別自治市です。この観点からすると市内選出の県議会議員のあり方と市議会議員の役割も大きく変わる為、地方自治法改正が必要となり、この点が大きなハードルとなります。

また、横浜市の人口は2020年に376万人に達していて、特別自治市では行政区がそのまま存続するので、18区それぞれの行政区での区長公選なども検討の余地がある点でもあります。この点は、大都市で急速に進む高齢化や今後整備が必要となる公共施設の老朽化に伴う保全・更新への費用増大といった行政課題に政治的責任において対応する必要性を感じます。

また、コロナ感染症対策など、国・県の財源を頼りにしている事業も多い中、このままでは横浜市にとって真の必要性とは違う部分で施策・事業を出来るか出来ないかが決まってしまう、本当に必要な施策を進めることが出来ません。

真の地方分権の実現と地方税財源の充実、国・県・市の明確な役割分担にて市民にとっても分かり易い行政改革に向けて努力して参ります。

2021年度横浜市予算要望・提言書の実現に向け取り組む！

今年も多くの団体から来年度 2021 年度予算に対する予算要望をお受けし、会派内にて内容を確認させて頂き、各局・各区に対し519項目、14の重点項目の予算要望・提言書としてまとめ、9月16日、林市長と4人の副市長に2021年度横浜市予算要望・提言書を提出しております。今後の定例会、常任委員会などを通じて一つでも多くの予算化を求めて会派内一丸となり取り組んで参ります。また、戸塚区予算要望としては以下23項目を提出しております。

★戸塚区要望

1. 鮎が遡上する河川の取り組みは区内河川全域で進め、河川周辺の親水環境整備・水量と水質保全対策に万全を期すとともに、河川の生き物調査の継続と報告・広報を行ない、区民の河川への関わりを強める様取り組むこと。また、子ども達が生き物などと直接触れ合え、区民の憩いの場として水辺広場の整備や遊水地の有効利用(公園・スポーツ広場)を講ずること。
2. 秋葉町平戸永谷川沿いにあるマンション前に戸塚土木事務所が管理をしている市所有地があるが、現在は、幅員もあり安全なスペースとして、ジョギング、散歩、休憩などで地域の憩いの場所になっている。今後、そのスペースが十分に有効活用されるように、近隣住民のニーズを把握し改善を図ること。
3. 健康の維持増進を目的とした散歩や歩こう会、幼児遠足などにて近隣公園の利用が増加傾向にある中、公園でのトイレ対策は課題の一つ。区内の公園内に設置してあるトイレで、閉鎖されている箇所については、公園愛護会、町内会、警察などと一層の連携にて、出来る限り再整備の方向を目指し、誰もが利用しやすい公園となるように環境改善に努めること。
4. コロナ禍にて自宅周辺での行動が多くなり、近隣公園の利用は区民にとって大切な空間となっている。区内の比較的規模の大きな近隣公園には駐車場整備を検討し、遊具などの充実や水遊びなど出来るような都市型公園を目指し、多くの方が利用出来る環境整備を進めること。
5. 国道1号線吹上周辺の環状線及び横浜高速環状南線接続周辺の工事が本格化しているが、バス停の安全利用及び、周辺的安全対策をしっかりと進め、事業の早期完遂に向けて取り組むこと。
6. 横浜新道上矢部インター下り線出口の早期整備を図り、富士橋交差点の改良も合わせ、周辺の交通渋滞対策・安全対策を進めること。
7. 上矢部インター周辺は冠水することが多いことから、大雨時の冠水注意表示を早急に設置すること。また、排水機能の強化を図り、冠水しないような改善に取り組むこと。
8. 東戸塚駅の混雑緩和に向けては様々な対策を進めているものの、利用者に対する情報発信が乏しい。短期、中期、長期と計画性ある改善をしっかりと利用者へ情報発信すること。
9. 戸塚駅の混雑時の課題は、横浜市営地下鉄へ続く階段とJR地下改札の動線が通路横断となっており、混雑時間帯では、接触などの危険が多くみられる。乗り換え者の安全動線の検討を進めること。また、戸塚駅、東戸塚駅の区内2駅はどちらも多くの乗降客が利用する駅にて、安全性の観点から、ホームドアの早期設置・計画前倒しとなる様取り組むこと。
10. 深谷通信所の跡地利用の整備方針・事業化が確定するまでの間、暫定利用に関しても複数年での利用契約が出来る様に、国との調整をすすめること。
11. 引き続き、区内の産業振興の促進と雇用創出に努めること。
12. 戸塚駅東口の企業人口が増加したことから、元吉倉橋(人道歩道橋)の通行は今まで以上の通行者数となっている。地域住民や小学生の生活上の通行に配慮する上でも、人道橋の架け替えを早急に検討すること。また、高齢者や障がい者、子育て中の方なども含め、階段のみの人道橋は利用が困難な状況から、エレベーターやスロープの設置も検討すること。併せて、元吉倉橋下の道路に横断歩道の整備にて信号機設置も含め、平地での移動手段の改善も含め、地域住民から必要とされる改善を早期に講ずること。
13. 柏尾町の放課後児童クラブが暫定利用している、市有地と建物の継続利用に努めること。
14. 吉田町側のアンダーパス交差点の渋滞緩和に努めること。また、吉田大橋一上倉田間の通行量も増えている。安全性の観点からも駒立橋横断歩道交差点に信号機の設置の検討と、夜間は現状の照度では横断歩道待機周辺から歩行者が見え辛く、発見が遅れ事故の危険性が高いことから、先ずは歩行者の安全を最優先に照明照度を高めるが横断者を見やすくするなどの対策を図ること。
15. 戸塚駅東口のタクシー乗り場が鳥の糞害にて、多くのタクシー利用者が被害を受けていることから、早急に対策を行うこと。また、東口の鳩、ムクドリ対策は、ペDESTリアンデッキは区民の憩いの場として利用されていることから、衛生的な観点からも、西口も含め更なる対策を図ること。
16. 戸塚駅東口バス乗り場の雨や日よけ対策として、乗車待ちの方が安全に並べる環境のために、上屋周辺だけでなく、全体を覆うような屋根の設置を早急に検討し、設置すること。
17. 戸塚駅東口ラピス2裏側の元吉倉橋に向かう道路標示が薄いので再塗装を行うこと。また、妙秀寺の下のカーブミラーのひさしが取れかけていて危険なので、対応を至急行うこと。
18. 第2倉田川架道橋は悪天候の際に多くの水がたまり、転倒するなど多く見られ、大変危険な状態にある。水捌けの改善、苔などの撤去を早期に実施し安全対策を図ること。
19. 戸塚駅や東戸塚駅などの駅周辺の無電柱化を早期に実現を図ること。
20. 戸塚駅バスセンター入口交差点の横断時間の改善が行なわれているものの、未だ横断時間内に渡り切れずに危険な状況を目の当たりにする。事故が起きる前に、横断時間の表示(カウントダウン式)や高齢者・障がい者などへの配慮した時間設定か横断方法の変更など、様々な検討を行なうこと。
21. 戸塚駅西口周辺の社会実験の結果を踏まえ、安全に送迎できる区役所下の一般車乗降場所の利用促進と、第2バスセンターの改善によるマンション送迎バスの乗降場所確保を早期に行なうこと。
22. 男女共同参画センター方面から戸塚駅西口に向かう視覚障害者は、駅利用する際はそのまま歩道を進んで駅利用出来るが、区役所やトツカーナ方面に行くためには、戸塚区役所前交差点を渡ることになる。現在、視覚障害者用付加装置が設置されていないことからとても苦勞されて横断されている。命に係わる交通安全対策であることから、早急に音響式信号機を設置し安全対策を行なうこと。
23. 箱根駅伝のルートにおいては、1号線のアンダーパスの開通に伴い、旧1号線を走るルートに戻し、多くの区民が応援でき、戸塚駅周辺が全国に発信される様に、粘り強く関東学生陸上競技連盟に働きかけること。また、箱根駅伝のルートの歴史や変更理由などを区民にわかりやすく情報発信すること。

新市庁舎・市議会見学のご案内

横浜市役所は北仲通南地区の横浜市所有地に7代目の新市庁舎の整備が完了し、今年の6月より本格的にサービスが開始されました。また、アクセスとしてもみなとみらい線馬車道駅1c出口から直結、JRの桜木町駅にも新南口(市役所口)も完成し徒歩3分、横浜市営地下鉄桜木町駅から徒歩5分ほどの立地となります。横浜市議会も同様に整備されており、新本会議場や委員会室を含め議会関係の見学などもお受けしております。ぜひ、新市庁舎にお越し頂きご覧頂けますと幸いです。

■見学希望の方は坂本事務所までご連絡下さい。 ☎045-869-0702 📠045-864-8568



台風被害からの教訓



11月16日に横浜消防ヘリポートと釜利谷消防出張所にて特別レスキューの訓練を視察させて頂きました。ヘリポートは昨年の台風15号に伴う高波による浸水被害にて消防ヘリが浸水被害を受け、ヘリポート内の対策と護岸整備などを確認。また、特別救助隊の訓練視察は、同じく、横浜市磯子区内消防訓練棟が台風にて倒壊し船舶などに被害を与えてしまったことから訓練棟の仕組みや訓練内容などを確認させて頂きました。どちらも横浜市民の生命を守る大切な施設ですので、今後の対策もしっかりと行うべきと感じました。

